

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	サロンコンサート開催事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	10	05	01	05	07
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	生涯学習課				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	中西 直人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	市役所来庁者等に市内の音楽家の生の演奏を気軽に楽しんでもらい、市民の芸術文化の向上を図る。
事業内容	・毎月1回、市役所ロビー等で音楽コンサートを実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和63年から開催し、市民から高い評価を得ている。 ・市の直営事業を平成19年からアウトソーシングとして、企画運営を委託で行うこととした。 ・本事業は、平成22年度から芸術・文化振興事業から独立。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	観客数	1,231	1,300	1,407	人	↑↑↑	
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 昨年同様、市役所ロビーが使用できない期間は、他の公共施設に会場を移し、開催した。市役所ロビー以外の開催においても、毎回100人以上の集客ができています。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,268,200	1,317,160	1,312,360				
事業費(b)(円)		993,600	1,048,680	1,048,680				
うち一般財源		993,600	1,048,680	1,048,680				
職員給与費(c)(円)		274,600	268,480	263,680				
人役・職員(人)		0.04	0.04	0.04				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	会場が市役所ロビー以外になった場合の運営の方法や、集客の工夫を講じる必要がある。	③取組における課題(Check)	より多くの観客を動員するため、企画やPR方法の工夫が必要。
②H30に実施した取組(Do)	コンサートの終わりに次回の開催予定のアナウンスを行った。 また、会場が市役所以外となった場合には、市役所と会場にそれぞれチラシを配架した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	企画内容については、受託者と十分に協議を行い、マンネリ化を防ぐ。 また、シティセールス用SNSの活用等、広報に力を入れる。